

音楽・九条の会ニュース

2005年12月5日発行

賛同の呼びかけをはじめて半年が過ぎようとしています。この間の活動、今後の予定などについて一度皆さまに報告しなければならないと思いながら年末も押し迫った頃になってしまいました。

全ての活動をカンパでまかなってる現状から、賛同者の皆さんにニュースをお送りするのは難しいことなのですが、これまでの様子を含めて1度は皆さんにご報告をさせていただかなければ・・・ということで、ニュースを作成しました。今後は、ホームページなどを利用して活動などを載せていきたいと思っています。パソコンなんてとおっしゃる方もおられると思います。今後、また何らかの工夫を考えていきたいと思っていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

「音楽・九条の会」発足記者会見



去る9月27日大阪市内で「音楽・九条の会」発足の記者会見が行われました。

会見には、呼びかけ人の日下部吉彦（音楽評論家）桂直久（大阪音楽大学名誉教授・オペラ演出家）櫻井武雄（大阪芸術大学名誉教授）茂山千之丞（狂言役者）の4氏が出席しました。世話人代表の日下部さんは、

「音楽家こそこういう運動に第一に立ち上がるべきだと思います。音楽は、平和に対して最も有効な、多くの人々に訴えかけられる手段であるからです。」とあいさつ。各出席者から「全世界に日本人が率先して憲法9条の旗を振っていくべき時期ではないか」（桂）「戦争くらい大きな人類の罪悪はない。人類の宝であるこの憲法を守らなければならない」（櫻井）「憲法9条を守るために命をかけることは、戦争で相手を殺すより人間としてはるかに素晴らしい」（茂山）と訴えがありました。

当日は、呼びかけ人各氏は同会のロゴマークをつけたTシャツを着て会見に臨みました。

会見の様子は、朝日、毎日、読売のほか共同通信の配信により全国の地方新聞に掲載されるなど、その後数日は事務局への問い合わせが相次ぎ反響の大きさに喜んでいます。



賛同者1,500人を超える！

本会は、プロ、アマ問わず広く音楽家、音楽愛好者に賛同を呼びかけています。

12月2日現在1,665名の賛同をいただき、募金は約100万円を寄せていただきました。賛同および募金のご協力をいただいたみなさま本当にありがとうございます。

小林亜星さん（作曲家）は「平和でなければ音楽じゃない」、丸山亜季さん（作曲家）は「『9条』は日本国民から世界中の人々、政府、国家に向かって伝えたい言葉・文章です」とメッセージを寄せています。「ぞうさん」の作詞で知られるまどみちおさん（95歳）は代筆ですが、名前だけは自筆で賛同書が寄せられました。また先日は、高木東六さんからも賛同をいただきました。

将来は10万人単位の賛同者による会にしていくことを目指しながら、今年中に2,000人にしたいと考えておりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、自分の地域でも音楽関係の九条の会をつくりたい、との問い合わせもいただいております。ぜひ、地域音楽・九条の会（名称は自由です。）をお作りください。その際は、各地の会員のみなさまに、「音楽・九条の会」の賛同者になっていただくようお願いいただければ幸いです。

資料などご必要の際は、「音楽・九条の会」事務局までご連絡ください。ホームページ <http://ongaku-9jo.net> にもファイルがあります。

「音楽・九条の会コンサート」 2006年1月26日(木)いずみホールで開催(大阪)

同封いたしましたチラシの通り、大阪でコンサートを開催します。西村先生には、この会のためにファンファーレを書き下ろしていただき、当日初演いたします。残念ながら、小学生未満のお子様は会場の都合でご入場いただくことができませんが、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。ニュースや機関紙に宣伝していただくために、右のような版下を用意しました。ご活用ください。また、各地でも取り組みなどありましたらご一報ください。チケットは大阪事務所で取り扱っています。



音楽・九条の会コンサート

池辺晋一郎氏ら出演

2006年1月26日(木) 午後7時開演 いずみホール

3500円(全席指定、以事務局、びあ、いずみホールでも取扱)

問合せ：音楽・九条の会 TEL.06-6362-3128

出演予定

上村昇(チェロ) 篠原美幸(ソプラノ)

幸田さと子(ヴァイオリン) 亀淵友香

with アン・ミュージック・スクール(ゴスペル)

大阪千代田短期大学9条の会合唱団

堀俊輔(指揮)池辺晋一郎(指揮)

Article9 オーケストラ 関西合唱団

神戸市役所センター合唱団 他

憲法9条を守れ!の運動は、音楽界でも広がっています。05年7月、池辺晋一郎氏、日下部吉彦氏ら30人の「音楽・九条の会」呼びかけに、たくさんの方々が賛同を寄せています。06年1月26日には、大阪のいずみホールで音楽・九条の会コンサートが、トクタイムも交えて、多彩で豪華な演奏者によって開かれます。

「音楽・九条の会オリジナルTシャツ」完成



オリジナルTシャツが完成しました。(ピラを参考にしてください)音楽・九条の会のオリジナルロゴマークと9つのPで作られた文が入っています。お申し込みお待ちしております。

「The peace stipulated in Article 9 of the Japanese Constitution is a **principle** that is **plain, permanent and perfect**. We **proclaim** our wish to **promote** this idea in **partnership** with all people in the world.」

憲法9条が規定する「平和(Peace)」は、明白(Plain)で、恒久(Permanent)の完全(Perfect)な原理(Principle)であり、わたくしたちは世界人民(People)と協同(Partnership)して促進(Promote)することを宣言(Proclaim)する。

平和を望むなら九条を変えるな

九条の会都内でシンポ 自民改革案を批判

ノーベル賞作家の大江健三郎さんら九人が呼びかけた「九条の会」が11月27日、都内でシンポジウムを「自民党改憲案」は日本をどこへ導くのかを開き、奥平康広東京大学名誉教授と山内敏弘龍谷大学教授が発言した。約260人が参加した。

あいさつした同会呼びかけ人で評論家の加藤周一さんは、憲法九条があったから、日本は60年間海外で殺したり殺されたりする国にならなかったと述べ、九条を改悪すれば軍備拡大と戦争の可能性が高まり、アジアで孤立すると指摘。「日本が平和を望むなら九条を変えてはならない」と語った。

同会の呼びかけ人の一人である奥平さんは自民党新憲法草案について「全面改正するための目くらましがちりばめられている」「いまの憲法前文に脈々と流れている国民主権や基本的人権、平和主義をぱっさりと切っている」と指摘。草案が憲法の全面的な改悪となっていることに触れ、「これでは憲法改定というより(国のあり方を変える)革命ではないか」と述べた。

山内さんは、集団的自衛権の行使を可能にすることと、徴兵制をはじめ国民による防衛義務をはっきりさせることの二つが自民党の狙いと強調。今回の自民党草案に徴兵制や国防の義務には明記されていないものの、全文にある「愛情と責任感と気概」などの表現によって実現する可能性があると指摘した。

草案そのものの最大の狙いは「戦争のできる国家体制づくり」とも述べた。その上で、日本は九条があることによってこれからも平和維持することができる 自由や民主主義を享受できる世界の環境保護に役立つ 不平等を是正できる - と語った。

音楽・九条の会

大阪事務所

〒530-0015

大阪市北区中崎西 2-2-1

東梅田八千代ビル8F

音楽ユニオン関西気付

Tel : 06-6362-3128 Fax : 06-6362-3127

東京事務所

〒135-0048

東京都江東区門前仲町 1-20-3-8F

門仲天井ホール気付

Fax : 03-3820-8646

E-mail info@ongaku-9jo.net

ホームページ <http://ongaku-9jo.net>